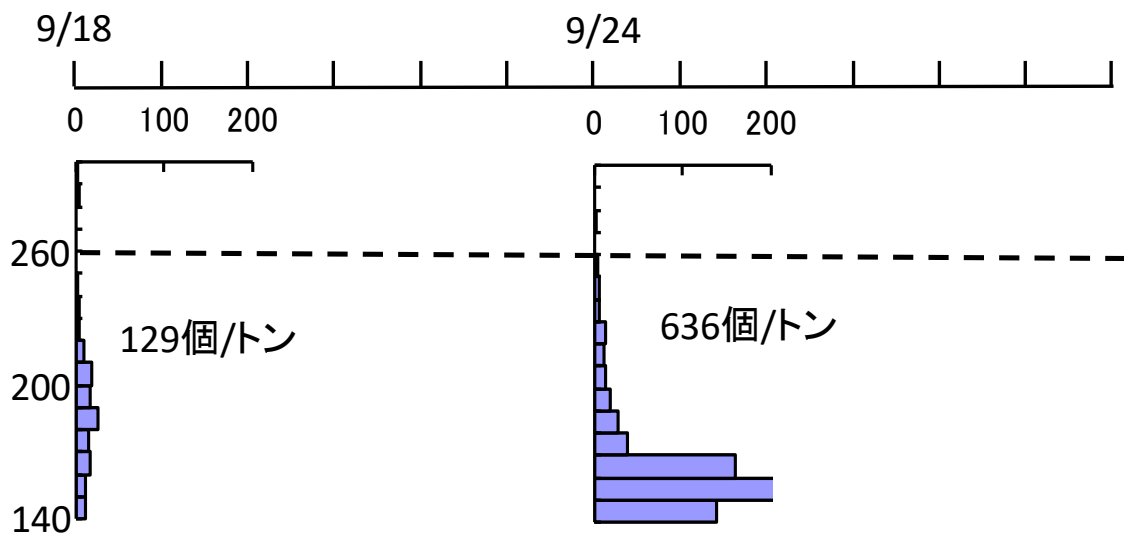


◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

9月24日にサロマ湖4地点で付着生物のラーバ調査を行いました。

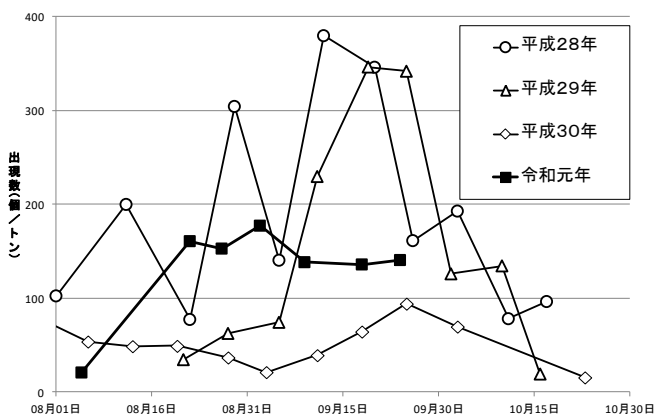
その結果、イガイ（シュリガイ）ラーバは140～170ミクロンを中心に平均で636個/トン出現しており、前回（129個/トン）より小型個体の割合が大幅に増加しました。付着サイズのラーバは1.0個/トン出現していました。

イガイラーバの殻長組成変化



ホヤ類（エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ）のラーバは平均で141個/トン出現しており、前回（136個/トン）とほぼ変わりませんでした。

ホヤ類の出現状況



付着物ラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	85.5	218.0	68.7	180.5	138.2
150 ~ 160	126.2	83.1	14.2	601.8	206.3
160 ~ 170	44.8	26.0	14.2	556.7	160.4
170 ~ 180	32.6	31.1	8.3	75.2	36.8
180 ~ 190	16.3	26.0	5.9	60.2	27.1
190 ~ 200	8.1	15.6	3.6	45.1	18.1
200 ~ 210	20.4	26.0	3.6	0.0	12.5
210 ~ 220	0.0	20.8	3.6	15.0	9.8
220 ~ 230	16.3	0.0	1.2	30.1	11.9
230 ~ 240	4.1	0.0	1.2	15.0	5.1
240 ~ 250	4.1	0.0	1.2	15.0	5.1
250 ~ 260	12.2	0.0	1.2	0.0	3.3
260 ~ 270	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
270 ~ 280	4.1	0.0	0.0	0.0	1.0
280 ~ 290	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
290 ~ 300	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	374.5	446.5	126.8	1,594.8	635.6
200μ m以上	61.1	46.7	11.9	75.2	48.7
	16.3%	10.5%	9.3%	4.7%	7.7%
260μ m以上	4.1	0.0	0.0	0.0	1.0
	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
ホヤ類	18.3	324.6	126.0	93.9	140.7

付着物ラーバ関連調査地点図

